

# 冬休みを有意義に過ごすために

令和3年12月23日

兵庫県立伊丹高等学校 生徒指導部

新型コロナウイルス感染防止策を取りながらの学校生活でしたが、見事なまでに勉学に部活動にそして学校行事に、みなさんは持っている力を十分に発揮してくれました。本当にうれしいことです。

さて、冬休みは新年を迎えるにあたり、自らで一年間をふり返って、自己を見つめると同時に、新たな一年に向けて目標を定め、その決意を固めるよい機会です。

1年生は、県高生活にも慣れてきたことでしょう。類型選択も決まりました。進路実現のための基礎作りに励んで下さい。2年生は、学校の中核の学年として、3学期を「高校3年生0学期」と位置づけ、勉学や部活動に、自主・自立・自律した生活を送ってください。3年生は、この県高での高校生活も残すところあと僅かです。最後まで「チーム74回生」として、「県高生活の総仕上げ」に向かって下さい。

受験を控え、気持ちの落ち着かない時期ですが、焦ることなく、家族や周囲の人の応援や協力に感謝して、充実した時間を過ごしてください。

地球上の動物で、感謝の心を持つことができるのは人間だけです。人は誰かに感謝しているとき、精神的な落ち着きを得ることができ、エネルギーが強化され、最大の力を発揮することができます。

そこで・・・今回は・・・どんな希望でもかなうスーパー・バード、青い鳥についてのお話です。

メーテルリンクの童話「青い鳥」をご存じですか？

クリスマスイブの夜のこと、知ルチルと満ちる兄妹の前に魔法使いの老婆が現れます。そして老婆は子どもたちに、青い鳥を探してきてくれと頼みます。どんな希望でもかなうスーパー・バード、青い鳥。そこで、チルチルとミチルはまぼろしの青い鳥を探しに旅にでます。

「思い出の国」では死んだおじいちゃん、おばあちゃんと再会し、「森」では人間に対する木々や動物たちの怒りを聞き、「幸福の花園」ではさまざまな幸せのありかたを知る。

しかし、結局青い鳥を連れて帰ることはできず、ふたりは打ちひしがれて家に帰ってきます。

「青い鳥って結局いなかったね」

がっかりしながら顔を見合わせるふたり。ふとふり返ると、おどろいたことに、**そこには青い鳥が！自分たちの部屋で、以前から鳥かごで飼っていた鳥が青い色に変わっていたのです。**

なんと、青い鳥は家にいたのです！チルチルはミチルに言います。

「ずいぶん遠くまでいったけれど、青い鳥は、ここにいたんだな」

青い鳥は、最初から、一番近くにいたと……。そうです。大切なものほど身近にある。そのことに気づくことこそ成長です。そうです。この童話のチルチルとミチルとは、あなたのことです。

「青い鳥」のなかでこんなセリフがでできます。

「世の中には、みんなが考えているより、ずっとたくさんの幸福があるのに、たいいてい人は、見つけられていない」

一番身近でありながら、見落とされているところ・・・

**あなたのルーツ（根っこ）です。そこに青い鳥がいます。**

僕らのおじいちゃん、おばあちゃん、そのまたおじいちゃん、おばあちゃん、そのまたおじいちゃん、おばあちゃんが、どんな時代を生き抜いて、何を大切に生きていたのか、どんな困難を乗り越えて・・・あなたに「命のバトン」をつないできたのか。そこを知ることで、あなたの人生は確実に変わります。



慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究所にて「幸福学」について研究されている富田欣和先生からも・・・

「幸福になるうえで、自分のルーツを知ることは極めて重要で、ルーツを知ることで、ココロの軸が定まる。」と教えていただきました。

**ルーツを知ることで、あなたの身体の中にいた“鳥”は“青い鳥”に変わってゆくはずで**

あなたの幸せはどこかにあるのではない。いま、ここにすべてがあったのです。

ひすいこたろう・ひたかみひろ「ニッポンのココロの教科書」(大和書房より)

年末・年始は、家族とともに過ごす時間も多と思います。今回の年末・年始は、「あなたのルーツ」を知るために、家族に、どんな時代を生き抜いて、どんな困難を乗り越えて、あなたに「命のバトン」がつかわれてきたのか。何を大切に生きていたのか、いろいろ話を聞いてみませんか。

あなたに大きな勇気や力を与えてくれる「青い鳥」が見つかるかもしれませんね。

## 冬休みの注意事項

1. 規則正しい生活を心がけること。新型コロナウイルスやインフルエンザへの感染防止(マスクの着用・手洗い・手指の消毒・部屋の換気)など、健康・体調管理に努めること。
2. 違法行為(飲酒、喫煙、窃盗、万引き、無免許運転、薬物)や「三不急運動」違反は冬休み中といえども特別指導の対象になります。自制心を持ち責任ある行動を心がけましょう。
3. 未成年者(高校生)立ち入り禁止の遊技場に入りしないこと。携帯電話が原因となる大きな事件も発生しています。SNSや出会い系サイト、メールなどの誘いには乗らないように、また、君たちがネット上にアップした情報は誰でも見ることができ、完全に削除することはできません。  
使用には注意を払いましょう。
4. 年末年始は事件も多い時期です。深夜の外出には危険が伴います。防犯には十分留意しましょう。  
外出時は保護者に行き先、要件、帰宅時間を知らせ、外泊は慎みましょう。
5. アルバイトは禁止です。
6. 交通ルールを守り、事故に遭わないように注意を払いましょう。  
もし、事故に遭ってしまった時は、決してその場を立ち去ってはいけません。必ず、・・・  
①けが人の救護(救急車が必要な時は119に電話) ②道路上の危険防止  
③警察への連絡 ④事故状況の確認(相手先の名前・住所・連絡先などを確認)  
⑤学校や保険会社に連絡 をすること
7. 登校した時は、自転車は通常の自転車置き場に止めること。
8. 旅行をする時には旅行届けを提出してください。学割の必要な場合は5日以上前に願いを提出してください。(12月29日(火)から1月3日(日)まで学校は閉庁しています。)
9. 事故や移動(転居)があれば、担任(学校)へ連絡してください。(Tel 072-782-2065)
10. 休み中でもいろいろな教育機関が様々な相談ののってくれます。以下に記しておきます。

兵庫県警サイバー犯罪対策係 078-341-7441

(SNSやインターネット上のトラブルなど)

伊丹市立少年愛護センター 072-770-8742

阪神北少年サポートセンター 072-784-7820

ひょうごっこ悩み相談センター 0120-0-78310 (365日・24時間・通話無料・携帯可)

0120-783-111 (平日9時~17時・通話無料・携帯不可)

LINEやWEBで相談できる窓口もあります。裏面にQRコードを載せておきます。

兵庫県警少年相談室「ヤングトーク」0120-786-109